山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2019年7月号

こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾通信

「理事長を交代しました」

2019 年 6 月 1 日、山村塾の理事長職を宮園福夫さんから小森耕太に引き継ぎました。

宮園さんは引退するわけではなく、引き続き、理事・山林コース担当農家として、これからも頑張っていただきますので、ご安心ください。

小森は 2000 年に山村塾スタッフになりましたので、今年で 20 年目を迎えます。当時、若い世代の田舎暮らしや I ターンは珍しく、まして山村塾のようなボランティア団体で働くといった事例は少なかったと思います。地域の方々からも、山村塾に訪れる方々からも、「小森君は将来何をやりたいんね？」「小森君は百姓になるとね？」「小森君はあと何年おるとね？」という将来を心配する声が多かったです。ちょっと反発心もあり、「お百姓にはならないし、将来やりたいことを今やっています。」などの返事を繰り返していました。そういった中で、当時の山村塾代表・稲作コースの椿原さん、山林コースの宮園さん、事務局の毛利さんは、それぞれの視点でサポートしつつ、僕を育ててくれました。最初の 4 年は四季菜館に住み込みで、椿原家と宮園家の農林作業を手伝いつつ、週末のイベントや合宿ボランティアの企画運営といった事務局の仕事を行いました。椿原家では、合鴨農法による棚田での米づくり、堆肥をつかった露地野菜、宮園家では、お茶や椎茸栽培、山仕事など、朝から晩まで一年を通して、みっちりと百姓仕事を学ぶことができました。また、現場のことだけでなく、経営的な目標や課題、農林業や地域への思いや考えといった哲学的な部分も学びを得たと感じています。しかし、一番大きかったのは、山村塾として、いろいろな事業やアイデアにチャレンジすることに、理解し、相乗りし、応援してくれたことだと思います。何かあってもサポートする、責任をとる、という椿原・宮園・毛利の設立メンバー 3 家族の関わりがあってこそ、会員さんや地域の方々をはじめ、いろいろな方々の信頼や協力を得られたんだと思います。

山村塾の代表は農家がやるべき、とずっと考えてきました。しかし、これまで 20 年育ててもらったことを活かし、今度は自らが次につなげていく役目を担うべきだと考えました。これからも都市と農山村のつながりを大切にしながら、皆さんと楽しく活動していきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします！（小森 耕太）

2019 年の田植え

稲作コースより

令和最初の米作りシーズンが始まりました！

今年も稲の種まきから稲作コースがスタートしました。みんなでバケツリレーの要領で苗箱を田んぼに運び並べ、苗代を作って１か月後、総勢100名による賑やかな田植えを行いました。今年は雨不足で、苗の成長が遅かったり、田んぼに水が貯まりにくかったりと難しいところもありましたが、無事に田植えができ、稲はアイガモのヒナといっしょにすくすくと育っています。

田んぼで稲を育てるのは６月から10月のたった４ヶ月間なのですが、そのあいだにやることはたくさん！〝八十八の手間〟がかかるといわれる米作りです。これから夏本番、農家は田んぼで草との戦いの日々です。おいしいお米が育つよう、ぜひみなさんも田んぼにたくさんいらしてくださいね！（原 愛子）

◆５月12日（日）「稲の種まき」
参加者：会員29名、一般８名、WC2名、
　　スタッフ７名、計46名
場所：四季菜館

◆６月16日（日）「田植え」
参加者：会員59名、一般32名、WC3名、
　　スタッフ９名、計103名
場所：四季菜館、棚田

◆６月23日（日）「鴨進水式」
参加者：会員54名、一般13名、WC1名、
　　スタッフ７名、計75名
場所：四季菜館、棚田

苗箱
バケツリレー！

↑ 5/12 稲の種まき

↓ 6/23 鴨進水式

アイガモのヒナたち
いってらっしゃい！

3段の田んぼの
田植え完了！

6/16 田植え

農家の声

稲作コース、田んぼ係の誠です

もう７月になってしまいました。山村塾イベント「田植え」、「鴨進水式」大盛況の中、無事に終わりました。棚田では稲と鴨が元気に育っています。

６月中旬までまとまった雨が少なく、田植えまで時間がかかった個所もあり、今年もいろいろあって遅れています。苗床作り（田苗用の畝づくり）は、昨年の失敗から学び今回は完璧でしたが、その後の水管理不足？で苗の成長はいまいち。ですが、田んぼの準備も遅れているおかげで、今ちょうど良くなってきました。

農業をしていく上で思うのは、もちろん作業そのものが下手より上手に越したことはないですが、それよりも「何の作業」を、「いつ頃」するのか。年間のスケジュールを細かくたてやんな～と３年位前から思ってますが…。

うちの田植えもこれから後半戦に突入。しかし本日（7/3）、田植え機が田んぼの中で突然故障。植え付け部が動かない。まだあと半分、2.5町（ヘクタール）くらい植える予定です。この通信が読まれているころには、恐らく田植え機も完治し、田植えも終わっていることを願います。うちの場合は田植えをして鴨を田んぼに放すまでが勝負です。田植え後１～２週間の間に鴨を放さないと、稲よりも草の方が勝ってしまいます。

また翌朝早起きして、田まわりをし、ボチボチしか動かないですが田植え頑張ります！昔から人前で話すことと、作文は苦手ですが、今後も田んぼ係長として頑張って行きますので応援よろしくお願いします。

農家の声
初担当です

田んぼ係長　**椿原 誠**

山林コースより

久しぶりの山林コースは、夏の山仕事「下草刈り」。今回は梅雨の晴れ間に恵まれて、標高 700 mのところにある通称〝ケヤキ林〟に登り、大きな根ざれ鎌を手に、背の高さほどある草をザクザクと切り進みました。植林した木がススキなどの草や蔓に負けないよう、この時期に草刈りするのが効果的なのですが、暑いなか本当に大変な作業です…。でもときおり山に吹くさわやかな風と、草を刈る手ごたえ、刈り終わったあとのさっぱり感がやみつきになります！今回は大変作業がはかどって、無事に 2 反のクヌギとスギ林の下草刈りを終えることができました。

山林コースのなかでも、「実はこの行事が一番好き」という方が多い下草刈り。（私も大好きです！）次回は 7/28（日）に行いますので、夏の山で汗を流したい方、ぜひご参加お待ちしております！（原 愛子）

ザクザク
夢中！！

◆ **5 月 3 日（金）～ 4 日（土）**
里山ミニワーク「お茶つみ」
参加者：会員 17 名、一般 8 名、WC3 名、
スタッフ 7 名、計 35 名
場所：えがおの森、在来茶園

◆ **7 月 7 日（日）「下草刈り」**
参加者：会員 5 名、一般 2 名、WC2 名、
スタッフ 4 名、計 13 名
場所：ケヤキ林

ケヤキ林の木々も育ってきています。
下草刈りおつかれさまでした！

会員のみなさん、こんにちは。

3 月に父、仙吾が亡くなった折には、炭焼きの行事を中止することとなりご迷惑をおかけしました。お参りくださった方、ありがとうございました。父にはいろんなことをたずねたりしていたので、相談相手がいなくなるのはさみしいものです。

平成から令和に時代がかわり、山村塾も 6 月の総会をもって役員体制が変わりました。理事長を交代し、ほっとしました。今後も理事と山林コース担当ですので、引き続きよろしくお願いします。

田植えも茶つみも終わり、今は茶の木の剪定や下草刈りに励んでいるところです。時間のとれる方はご連絡ください。お手伝いいつでもお待ちしております。

先日、県の特用林産振興会に〝ほだ場診断〟をしてもらい、今年の冬にみなさんに菌打ちしてもらったしいたけのほだ木は、菌がいい伸び具合で順調だということです。ありがとうございます。

今年のお茶は引き取り価格が底値で、山のお茶栽培は厳しいです。平地の田んぼが茶畑に変わり、効率の良い平地のお茶が広がってきているので、山のお茶は押されています。需要動向が変わり、ペットボトルの緑茶だけでなく、紅茶、コーヒー、水、タピオカなんとかなど飲み物が増えていて、急須でお茶を淹れる文化が薄れてきているようです。便宜性重視で、携帯電話などのほうにお金を取られて、着るもの食べるものは安いものばかりが重宝される、そんな社会が今の社会なのかなと思います。1 次・2 次産業は所得が低く、ものを生産する世界は厳しいです。どこまでできるかわからないですが、がんばるしかないと思います。

米のほうは、雨不足で田植えが遅れましたが、今のところ順調です。まだ本格的な梅雨が来たとは言えず、雨不足なのか、豪雨なのか、天候がわかりません。気象庁の「自分の命は自分で守って」という言葉にも驚くこの頃です。自然には逆らえないなと思います。

これから暑くなりますが、お身体に気を付けてください。ではまた。

山林コース
宮園 福夫

ワークキャンプ レポート！！

里山80日ボランティア(2019.4.27～7.15)
レポート：Le Duc Quoc Tri（ドゥイ）

みなさんこんにちは！私はベトナム出身のドゥイ(Tri)です。都会に長く住んでいる私には見慣れない異文化と出会うこと、新たな技術を身に着けることを通じて人生をより豊かにしたいと、山村塾主催の国際ワークキャンプに参加しました。ここで、地元の方々と一緒に生活しながら日本の文化や伝統を学んだり、日本の持続可能な緑地保全の仕組みを勉強したいと思ったのです。

このワークキャンプでは、地域の方々や他の国のボランティアと一緒に活動できることが魅力です。例えば山村塾スタッフの小森さんと、日本語も英語も使える台湾出身のコーディネーターのファンさん。大学で自然再生について学ぶことを目指している16歳の高校生のミオ。世界に旅立つ夢を抱いている18歳のドイツ人ボランティアのハニン。15ヶ国に旅してきた大学生ボランティアのキララ。キララは自分の国の文化と人々を深く理解したくて、日本各地でボランティア活動を頑張っています。

4/27からスタートした80日間のワークキャンプも、ゴール間近となりました。全日程参加しているメンバーのドゥイからのレポートです。

私たちはえがおの森で、様々なワークに取り組んでいます。耕作放棄された棚田の保全（草刈り）、棚田での米作り、ラッキョウの栽培と加工、そして、社会福祉法人たからばこのみなさんとの活動や、山村塾のイベントなど様々な活動に参加・協力しています。

6月からは田植えの準備が始まりました。まずは草刈り、用水路掃除、水の管理、肥やしふり、それから種まき、田植えと様々な作業がありましたが、まだまだやることはたくさんあり、米作りは決して楽な仕事ではない！と、米作りを続ける農家さんには尊敬の念を抱きました。農業の従事者がいなければ、世の中は狩猟採集に専念せねばならず、社会の発展は叶わないのではないかと実感しました。

笠原は7年前に水害で甚大な被害を受けました。災害以降、山村塾は耕作されなくなった棚田の保全に力を入れています。しかし、人手も時間も足りていません。なので、私はこのワークキャンプで全力を尽くし、有意義な活動を行い、この景観を未来につないでいけますようにと願っています。

最後に、地元の方々はとても優しくて、感動しています。缶コーヒーを差し入れしてボランティア活動を応援する方、野菜をいつもおすそわけしてくれる近所のおばさんなど…。このみなさんの温かさは、日本でのいい思い出となるでしょう！

その他の活動報告

～4月～

- **4/14（日）全体行事「顔見せ会」**
  参加者77名（会員57、一般10、スタッフ10）
  場所：えがおの森、ケヤキ林

～5月～

- **5/25(土)~26(日)里山ミニワーク「棚田の草刈り」**
  参加者17名（会員6、一般3、WC2、スタッフ6）
  場所：四季菜館、笹原の棚田、レンガクボウの畑

～6月～

- **6/1（土）山村塾通常総会**
  参加者22名（会員13、スタッフ9）
  場所：四季菜館
- **6/8(土)~9(日)里山ミニワーク「宮永茶屋の森づくり」**
  参加者13名（会員1、一般6、WC3、スタッフ3）
  場所：宮永茶屋（宮若市）
- **6/22（土）棚田米プロジェクト「田植え」**
  参加者17名（会員1、一般5、WC2、スタッフ9）
  場所：屋敷の棚田

山村塾ニュース

◆第６回通常総会を行いました（2019/6/1）

今年の総会は２年に一度の理事改選に加え、活動コースのリニューアル、賛助会費の変更と大きな議題を抱えての実施でした。

理事改選は、新任１名、５名退任、５名再任で承認されました。これまで 10 名だった理事体制を６名にスリム化することで、理事会運営、事業運営にスピード感を持つことができると考えています。

任意団体発足当時から今のスタイルで続けてきた活動コースは、現在の実情に合わせた仕組みへと変更されます。

①行事の際の食事代徴収
②活動コース会員の NPO 会員必須加入条件廃止
③年会費の変更

が大きな変更点です。

その中で、②活動コース会員の NPO 会員（正・賛助）必須加入条件を廃止することは、理事会、事務局にとって大きな決断でした。山村塾は NPO 法人であり、多くの方に正会員・賛助会員として応援頂くことが何よりの力です。任意加入とはなりますが、活動コース会員の皆さんにはこれまで同様 NPO 会員としての応援を継続して頂けると大変ありがたく、心強く思います。そういった思いもあり、賛助会費はこれまでの 5,000 円から 3,000 円へ変更することとしました。

活動コースのリニューアルは行事に参加する会員の皆さんに直結する議題ですが、多くの方にアンケート等でご意見をいただき、農家、理事、事務局で何度も議論を重ねてきたこともあり、総会ではスムーズな承認となりました。皆さんご協力ありがとうございました。（小森文子）

～重要！～ 行事の受付方法などが変わります

いつも山村塾の活動へのご参加、ご協力をありがとうございます。

ここ１年ほど、たくさんの方に行事にご参加いただくようになりました。先日の稲作コース「田植え」ではお申込みが集中し、一般の方だけでなく活動コース会員の方のお申込みもお断わりすることとなりました。参加できなかった皆様、大変申し訳ありませんでした。

これまで、会員の参加申し込みは、〆切日以降や定員を超えても受付を行うなど、お断りすることはありませんでした。しかし、食事準備、安全確保、活動の質を維持するためには定員を厳守する必要があり、今後は、次のように受付のルールを見直すことなりました。ご協力のほどよろしくお願い致します。

～主な変更点～

●申込〆切を２段階設定します。

▷１次〆切:受付期間は行事の１か月前～９日前まで。
先着順にて受け付け、一般の方は一般の申し込み定員範囲内で受け付けます。
（例　定員 50 名：ただし一般 10 名まで）

▷２次〆切：行事の８日前～４日前まで。
会員と一般の枠をはずし、定員の合計人数の範囲で一般参加も受け付けます。
（例　定員 50 名：一般、会員問わず受付）

●定員を超えた場合は会員の方でもお断りすることがあります。

～その他～

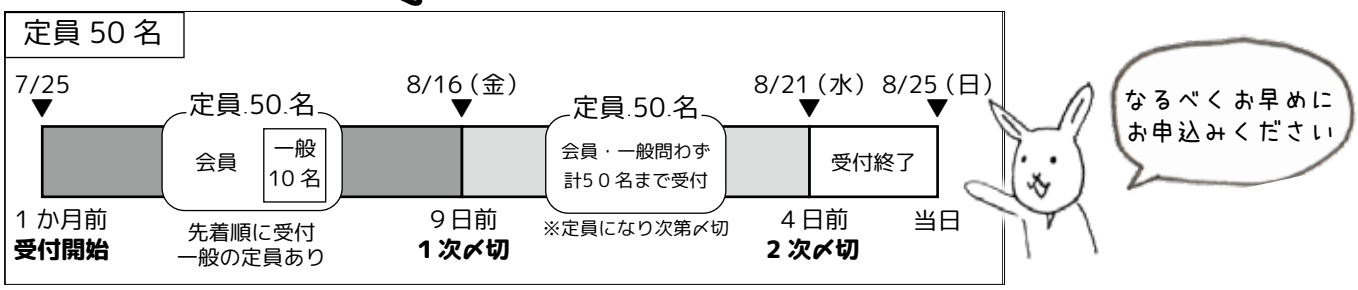
●受付方法：WEB からもお申込みできます。

これまでのメール、FAX、電話に加え、WEB フォームからも申込みができるようになりました。山村塾のホームページに行事申し込みフォームを設けていますので、ぜひご利用ください。

●一般の方の行事参加費が変わります。

今年の収穫祭（11 月）以降より、一般の方の参加費を値上げさせていただく予定です。詳細は、募集開始の際にホームページやチラシ、山村塾通信等でお知らせします。

◆２つの申込〆切
例）8/25（日）「鴨の引き上げ」の場合



今後の予定

日程	行事名
7/14（日）	稲作コース「田の草取り」
7/28（日）	山林コース「下草刈り」
8/2（金）～4（日）	山村塾子どもキャンプ
8/25（日）	稲作コース「鴨の引き上げ」
8/31（土）～9/1（日）	里山ミニワーク「棚田の草刈り」
10/13（日）	稲作コース「稲刈り」
10/20（日）	山林コース「枝打ち」
10/26（土）～27（日）	全体行事「鴨さばき」

【イベント参加についての注意！】

◆お申込み

どのイベントも、どなたでも参加頂けます（定員、一部年齢制限あり）。**事前申し込み制**です。事務局まで WEB フォーム、メール、電話、FAX でお申込みください。

◆申込期間

・**1 次〆切：**開催 1 か月前～ 9 日前まで。先着順。
一般の方は一般の定員の範囲内で受け付けます。

・**2 次〆切：**開催 8 日前～ 4 日前まで。
会員・一般とも全体の定員の範囲内で受け付けます。

◆イベントの詳細について

ホームページ、facebook、チラシ等でイベントの詳細をお知らせしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

事務局より

特例認定 NPO 法人山村塾　会員募集！

●会員の種類は、総会での議決権を持つ正会員と議決権を持たない賛助会員の 2 種類です（どちらも個人 5,000 円、団体 10,000 円）。

●いっしょに田んぼや山で働く、活動コース（稲作・山林、稲作、山林、古里）の加入をお待ちしております！

ご寄付のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄付で支えられています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

＜ヤマヤマ基金＞農山村の環境を守る活動全般に役立てられます。

＜平成 29 年豪雨支援＞山村塾では寄付を活用し、朝倉市黒川地区の復興を支援します。

■郵便振込口座から

加入者名：特定非営利活動法人山村塾

口座番号：０１７９０－３－１６９３９８

※通信欄にどちらのへのご寄付かご記入下さい。

■銀行から

銀行名：ゆうちょ銀行　店名：一七九（店番：１７９）

口座：当座　０１６９３９８

※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレス、寄付先をお知らせ下さい。　↗

■農産物を買う：会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割が**ヤマヤマ基金**へ入ります。

◎**年会費納入**　以下の方々から年会費を納入いただきました。ありがとうございます。（6/30 入金まで。敬称略）

■正会員：濱岡謙二（古里）、平島誠一郎（古里）、川原秀之（山林）、原口朝木（稲作・山林）、静間純（古里）、西村茂（稲作）、本田範隆（稲作）、野田佐智子、前薗良一（山林）、栗脇康秀（稲作）、田中久昭（稲作）、中村淳（稲作・山林）、宮園福夫、宮園佐津美

■賛助会員：金澤真里、瀬崎敏博、吉田博幸、北島みどり、田中幸代（山林）、桁山忠典、古賀仁美（山林）、吉原典子（稲作）、岩本万治郎（稲作）、髙橋由美子（稲作）、石津和紀（稲作）、田村久美子（山林）、園村弘、江口勝也、長慎也（稲作）、畠本記子（稲作）、椛島のり子（稲作）、山﨑優子（稲作）、関屋朝美（稲作）、下里さゆり（稲作）、木戸武彦（古里）、武仲知里（稲作）、木下麻衣（稲作）、屋良貴宏（山林）

◎**寄付者**　以下の方々から頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。（6/30 入金まで。敬称略）

■ヤマヤマ基金：具島みや子、中嶋直子、伊藤英亟、岳三明、西田雅文、社会福祉法人たからばこ、谷尾納、株式会社 グリーンクラフト、瀬﨑敏博、木浦みどり、下田誠也、吉住君子、寺田千穂、木林京子、川原秀之、静間純、西村茂、柴戸慶子、鳴滝隆史、野田佐智子、前薗良一、背川歌子、中村淳、宮園福夫、毛利宗孝

■笠原復興基金：かってに林業を応援する会

■平成 29 年豪雨支援：濱田重男、岳三明、中坂裕計、木浦みどり、竹松典子、中村淳

◎**企業・団体からの寄付**

■ 3/11、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様から 300,000 円のご寄付（目録）をいただきました。国際ワークキャンプ開催等に使わせていただきました。

■ 5/7、株式会社ファンケル様から「HAPPY エコルーレット」を通じて 62,500 円のご寄付をいただきました。パッチワークの森づくり事業に活用させていただきます。

■古本募金きしゃぽん様を通じてご寄付をいただきました。（3/31：32,337 円、5/20：5,041 円）

★古本で寄付ができます！

古本や DVD を「きしゃぽん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄付したい旨をお伝えください。）

＊ニュースレター 電子配信のご案内

山村塾通信やチラシなどの山村塾からのおたよりを郵送ではなく、PDF などの形式でメールで受け取りたい方は、事務局までお知らせください。

＼お問い合わせ大歓迎！／

こめづくり もりづくり ひとづくり 山村塾 **特例認定 NPO 法人 山村塾**

〒 834-1222

福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL・FAX 0943-42-4300

Email：info@sansonjuku.com **HP** http://sansonjuku.com

FB　https://www.facebook.com/sansonjuku

理事長：小森耕太

※山村塾は特例認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄付は寄付金控除の対象となります。